

みなかぜの虹



NO. 29
令和4年10月28日
南風小学校学校運営協議会

学校・家庭・地域の三者で、「地域の子どもを地域で育てる」ことを具現化するコミュニティ・スクールみなかぜ

第2回 南風小学校 学校運営協議会を開催しました

10月22日(土) 13:00から開催しました。今回の内容は以下の通りです。

- 1 校長から、全国学力学習状況調査および県学力調査の結果、自己評価(中間評価)についての説明
- 2 教頭から、コミュニティスクール南風の取組「あいさついっぱい大作戦」の取組状況の報告
- 3 主幹から「防災学習」についての報告

説明：学力調査の結果・自己評価について

- ・「南風の子アンケート」の結果より、子どもたちは「あいさつ」はよくできていると感じている。取組が終わっても気持ちのよいあいさつを続けていきたい。「自分の考えを説明すること」に関しては子どもと教師とで結果にずれがある。教師自身も子どもの考えを引き出すような授業作りをしていく必要がある。
- ・学力面(全国学力学習状況調査6年・福岡県学力テスト5年)において、全国・福岡県の平均を超えており、今までの学習したことがしっかりと定着している。今後も個別指導等を行っていく。

報告：あいさついっぱい大作戦について

- ・「あいさついっぱい大作戦」について現在の状況を報告した。総務委員会を中心に行っている「あいさつカード」の取組もあり、校内に気持ちのよいあいさつが響くようになった。また、子どもの笑顔も増えたように思う。地域の方からも、「小学生から「こんにちは」とあいさつされ、うれしくて私も元気よく返しました。やはりきもちのいいものです」という感想もいただいた。今後もあいさつが継続するように教師からの声かけも行っていく。



・「防災教育デー」として、1～5年生までは防災に関する授業、6年生は地域の方と一緒に避難所運営訓練を行った。

学級活動や道徳、社会科の授業の時間を使って、災害が起きた時、自分の命を守るためにどう行動するのかまた、避難する際には何を持って行くとよいかなどを考えた。今後も日常の授業や避難訓練を通して子どもたちが防災について正しい知識をもち、最善の行動がとれるようにしていきたい。

学校運営協議委員のみなさんからのご意見・質問



あいさつに関しては、まだこちらからあいさつをしたら返すという子どもが多い。自分からできるようになるとよりよい。また、スタンプカードは積極的な子とそうでない子に差があるように感じた。

ICTの活用が増えてきているのは時代の流れとしてよく分かる。しかし、自分の考えを書いたり、手作りの良さも大切にしてほしい。



学力調査の結果は良好であったが、個別の指導とはどんなことをしているのか？
→その子に合った家庭学習の課題を出したり、欠席した子への補充学習を行ったりしている。



意見交換している様子

おしらせ

「みなかぜあったカード」の投函お待ちしております！

メールやFAX、電話でも受け付けておりますので、気軽にご連絡ください。子どもたちの善行が広がり、地域ぐるみで子供達のよさを共有できればと思います。

TEL 092-331-2111 FAX 092-331-2112

E-mail minakaze@itoshima-fko.ed.jp





学校・家庭・地域の三者で、「地域の子どもを地域で育てる」
ことを具現化するコミュニティ・スクールみなかぜ

第2回 南風小学校 学校運営協議会を開催しました

10月22日(土) 13:00から開催しました。今回の内容は以下の通りです。

校長から、全国学力学習状況調査および県学力調査の結果、自己評価(中間評価)についての説明

- ・子ども・教師の結果より、子どもたちは「あいさつ」「協力」「粘り強く取り組むこと」はよくできていると、ともに感じている。「自分の考えを説明すること」に関しては子どもと教師とで結果にずれがある。教師自身も子どもの考えを引き出すような授業作りをしていく必要がある。自分を肯定的に捉える自尊感情も概ねよい傾向にあるが、そうでない子もいるため、頑張った自分、できるようになった自分を見つめられるようにしていきたい。
- ・学力面(全国学力学習状況調査6年・福岡県学力テスト5年)において、全国・福岡県の平均を超えており、今までの学習したことがしっかりと定着している。今後も個別指導等を行っていく。



主幹から「防災学習」についての報告

・10月22日(土)は「防災教育デー」として、1～5年生までは防災に関する授業、6年生は地域の方と一緒に避難所運営訓練を行った。

災害が起きた時、自分の命を守るためにどう行動するのか、また避難する際には何を持って行くとよいかなどを考えた。今後も日常の授業や避難訓練を通して子どもたちが防災について正しい知識をもち、災害の時に自分で考え、最善の行動がとれるようにしていきたい。

学校運営協議委員のみなさんからのご意見



あいさつに関しては、まだこちらからあいさつをしたら返すという子どもが多い。自分からできるようになるとよりよい。

ICTの活用が増えてきているのは時代の流れとしてよく分かる。しかし、自分の考えを書いたり、手作りの良さも大切にしてほしい。



説明する力は、相手に伝わるように表現することも大切だが、聴くことも大切である。この2つのことができるように育ててほしい。



意見交換している様子

教頭から、コミュニティスクール南風の取組「あいさついっぱい大作戦」の取組状況の報告

・総務委員会を中心に行っている「あいさつカード」の取組もあり、校内に気持ちのよいあいさつが響くようになった。また、子どもの笑顔も増えたように思う。地域の方からも、「小学生から「こんにちは」とあいさつされ、うれしくて私も元気よく返しました。やはりきもちのいいものです」という感想もいただいた。取組が終わってもあいさつが継続するように教師からの声かけも行っていく。

おしらせ

「みなかぜあったカード」の投函お待ちしております！

メールやFAX、電話でも受け付けておりますので、気軽にご連絡ください。子どもたちの善行が広がり、地域ぐるみで子供達のよさを共有できればと思います。

TEL 092-331-2111 FAX 092-331-2112
E-mail minakaze@itoshima-fko.ed.jp





学校・家庭・地域の三者で、「地域の子どもを地域で育てる」ことを具現化するコミュニティ・スクールみなかぜ

1：校長から、全国学力学習状況調査および県学力調査の結果、自己評価（中間評価）についての説明

- ・子ども・教師の結果より、子どもたちは「あいさつ」「協力」「粘り強く取り組むこと」はよくできていると、ともに感じている。「自分の考えを説明すること」に関しては子どもと教師とで結果にずれがある。教師自身も子どもの考えを引き出すような授業作りをしていく必要がある。自分を肯定的に捉える自尊感情も概ねよい傾向にあるが、そうでない子もいるため、頑張った自分、できるようになった自分を見つめられるようにしていきたい。
- ・6年全国学力学習状況調査・5年福岡県学力テストにおいて、全国・福岡県の平均を超えており今までの学習したことがしっかりと定着している。今後も個別指導等を行っていく。

2：教頭から、コミュニティスクール南風の取組「あいさついっぱい大作戦」の取組状況の報告

- ・総務委員会を中心に行っている「あいさつカード」の取組もあり、校内に気持ちのよいあいさつが響くようになった。また、子どもの笑顔も増えたように思う。地域の方からも、「小学生から「こんにちは」とあいさつされ、うれしくて私も元気よく返しました。やはりきもちのいいものです」という感想もいただいた。取組が終わってもあいさつが継続するように教師からの声かけも行っていく。



第2回 南風小学校学校運営協議会を開催しました！ 今回の内容は・・・

3：主幹から「防災学習」についての報告

・10月22日（土）は「防災教育デー」として、1～5年生までは防災に関する授業、6年生は地域の方と一緒に避難所運営訓練を行った。

災害が起きた時、自分の命を守るためにどう行動するのか、また避難する際には何を持って行くとよいかなどを考えた。今後も日常の授業や避難訓練を通して子どもたちが防災について正しい知識をもち、災害の時に自分で考え、最善の行動がとれるようにしていきたい。



学校運営協議委員のみなさんより

- あいさつに関しては、まだこちらからあいさつをしたら返すという子どもが多い。自分からできるようになるとよりよい。
- ICTの活用が増えてきているのは時代の流れとしてよく分かる。しかし、自分の考えを書いたり、手作りの良さも大切にしてほしい。
- 説明する力は、相手に伝わるように表現することも大切だが、聴くことも大切である。この2つのことができるように育ててほしい。



ご意見、ありがとうございました。今後の教育活動にいかしていきます。

おいせ

「みなかぜあったカード」の投函お待ちしております！

メールやFAX、電話でも受け付けておりますので、気軽にご連絡ください。子どもたちの善行が広がり、地域ぐるみで子供達のよさを共有できればと思います。

TEL 092-331-2111 FAX 092-331-2112
E-mail minakaze@itoshima-fko.ed.jp

